

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 都市福利施設の整備の必要性

① 現状分析

- 中心市街地の文化施設として、複合拠点施設カミン内の市立図書館・コミュニティ施設のほか、市立上山城（郷土歴史資料館）、働く婦人の家、アビヤント・K、勤労青少年ホームなど、主要な施設が集積している。市民会館は、老朽化のため平成22年度に閉館された。
- 医療機関は中心市街地に22箇所（平成23年）立地しており、商店街近傍に医院が多数集積している。また、比較的規模が大きい医療機関は、中心市街地の周辺に立地している。
- 高齢者が気軽に集える場として、公衆浴場を併設した「老人いこいの家」がある。また、カミンの2階に高齢者がいつでも立ち寄り交流でき、介護予防活動や生きがいづくりの拠点となる常設高齢者サロンの社会実験が平成23年9月から始まっている。
- 中心市街地に温泉が湧くという特色を活かして、公衆浴場が5箇所に整備されており、合計227千人（平成22年度）の利用者数がある。
- 教育機関は、中心市街地には上山小学校が1校あるのみで、教育機関の多くは、中心市街地周辺に立地している。
- 保育所については、園庭や送迎駐車スペースが必要なことから市街地周辺の郊外に立地しており、中心市街地に立地するものはない。中心市街地近傍では、旧にし保育園を改装して、主に就学前の保護者と子どもを対象とした子育て拠点施設「上山市総合子どもセンター」（めんごりあ）が平成21年4月に開設された。
また、学童保育については、上山小学校の旧給食センターを利用した上山児童館等、2箇所が設置されている。

② 事業の必要性

<教育文化施設>

- 上山城（郷土歴史資料館）は回遊の起点となる拠点的な文化施設であるが、開設から四半世紀が経ち、展示室の老朽化、ユニバーサルデザインや多様化する博物館ニーズへの対応不足等の問題が生じていることから、ハード・ソフト両面において拠点施設としてふさわしいリニューアルが必要である。
- 中心市街地には、武家屋敷や戦前の温泉文化を伝える旅館建築など、文化的価値が高い貴重な建築物が数多く残っているが、後継者の不在等による滅失等も危惧されることから、地域や所有者との合意形成を図り適切に保存しながら、活用していくことが求められている。

- 上山小学校は、耐震化のため建て替えが必要になっている。また、サークル活動などで使われていた市民会館が平成 22 年度に閉館され、中心市街地の交流施設の利用状況も飽和状態であることから、上山小学校に整備され、一般開放される多目的ホールなどの交流施設が待ち望まれている。

＜社会福祉施設＞

- 中心市街地では高齢者や子供の休憩場所が限られており、気軽に休憩・交流できる居場所づくりが求められている。
- 上山小学校の耐震化のため、上山児童館は、建て替えが必要になっている。
- 市民アンケートでは中心市街地に必要な施設整備として「温泉入浴施設」が最も多く 42.5%となっているなど、温泉資源を活かした保養や健康づくりへの市民の関心が高い。観光客に向けたまちづくりと生活者のためのまちづくりを相互に関連づけ、中心市街地の活性化に広く波及させていく総合的なプロジェクトとして、上山型温泉クアオルト構想を推進する。

③ フォローアップ

本計画に位置づけた取組みについては、平成 25 年度から毎年目標指標達成に対する寄与度などの事業効果を点検し、必要に応じて改善に努めながら推進する。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>〔事業名〕 上山城拠点機能強化事業</p> <p>〔内容〕 施設のグレードアップ（スクリーン、バリアフリー化など）、広場の整備（2箇所）</p> <p>〔実施時期〕 平成24年度～26年度</p>	市	<p>歴史資料館としての機能を強化するとともに、回遊型観光の拠点として、スクリーンなどを設置し、集客のためのイベントの開催に努めるほか、情報発信基地として、市民からも観光客からも親しまれる施設を目指す。また、上山城を拠点とした回遊の起点となる広場の整備を進める。</p>	<p>〔支援措置〕 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（上山城周辺地区））</p> <p>〔実施時期〕 平成24年度～26年度</p>	

<p>〔事業名〕 コミュニティセンター整備事業</p> <p>〔内容〕 コミュニティセンターの整備 1棟</p> <p>〔実施時期〕 平成26年度～27年度</p>	市	<p>十日町周辺には、地域住民の相互交流を図る中核的な施設がないため、十日町通り沿いにある空き旅館を解体し、集会室等を備えたコミュニティセンターを新築し、中心市街地並びにコミュニティ活動の活性化を促進する。</p>	<p>〔支援措置〕 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（上山城周辺地区））</p> <p>〔実施時期〕 平成26年度～27年度</p>	
<p>〔事業名〕 高齢者サロン設置社会実験事業</p> <p>〔内容〕 空き店舗を活用し、高齢者サロンの社会実験</p> <p>〔実施時期〕 平成23年度～29年度</p>	市	<p>実験的に高齢者サロンを設置し、アンケート調査を実施し、調査・研修を行いながら、整備を進めていく。</p>	<p>〔支援措置〕 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（上山城周辺地区））</p> <p>〔実施時期〕 平成23年度～27年度</p>	
<p>〔事業名〕 上山城特別展開催事業</p> <p>〔内容〕 上山城での歴史と文化等をテーマにした企画展示会の開催</p> <p>〔実施時期〕 昭和56年度～平成28年度</p>	公益財団法人 上山城郷土資料館	<p>上山城では、館内の常設展示とは別に、上山市の歴史と文化等を紹介し、関心と理解を深めてもらうための企画展示会を年に何回か開催してきた。</p> <p>今後も新たな観光客誘致のための事業として、また、リピーターからも楽しんでもらうために特別展や文化イベントを開催し、賑わい創出に努める。</p>	<p>〔支援措置〕 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>〔実施時期〕 平成25年度～28年度</p>	

〔事業名〕 長屋門長屋整備活用事業 〔内容〕 長屋門長屋を改装、活用 〔実施時期〕 平成21年度～28年度	市、NPOまちづくり塾、東北芸術工科大学、長屋門管理運営協議会	NPO上山まちづくり塾と大学生がコラボレーションしてセルフビルドで改装した空き店舗長屋門長屋を、市民や観光客が立ち寄りギャラリーと体験工房として活用し賑わいを創出する。	〔支援措置〕 中心市街地活性化ソフト事業 〔実施時期〕 平成25年度～28年度	
---	---------------------------------	--	--	--

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
〔事業名〕 武家屋敷・旧曾我部家整備事業 〔内容〕 武家屋敷旧曾我部家の整備、一般公開 〔実施時期〕 平成24年度～25年度	市	当地区は上山市の歴史を物語るに重要な位置である上山城跡にほど近く、全国的にも珍しいという築200年以上の武家屋敷が4軒並んで通称「武家屋敷通り」を形成している。 しかしながら、所有者の高齢化や維持経費が多額に上ることなどにより荒廃が進んでおり、空き家となっている武家屋敷旧曾我部家を市で取得し、保存のための改修を行い、文化施設、観光施設として活用していく。	〔支援措置〕 社会資本整備総合交付金(空き家再生等推進事業) 〔実施時期〕 平成24年度	

<p>〔事業名〕 上山児童館整備事業</p> <p>〔内容〕 上山児童館の整備</p> <p>〔実施時期〕 平成25年度～26年度</p>	市	<p>核家族化や保護者の共働き等の進展に伴い、留守家庭における児童の健全育成を図るため、小学生の学童保育を上山小学校の建物の一角で実施していた。上山小学校が耐震化で建て替えが必要になり、上山小学校の改築整備に合わせて児童館を整備する。</p>	<p>〔支援措置〕 児童厚生施設等整備費補助金（予定）</p> <p>〔実施時期〕 平成25年度～26年度</p>	
<p>〔事業名〕 上山小学校改築整備事業</p> <p>〔内容〕 屋内運動場、多目的ホールの整備</p> <p>〔実施時期〕 平成27年度～28年度</p>	市	<p>上山小学校は耐震化のため、建て替える必要があり、その整備が急がれている。この場所は上山城、武家屋敷、湯町に囲まれた位置にあるため、周辺の景観にマッチした外観となるよう配慮をする。また、周辺を散策する人も多く、学校の一部を開放エリアとし、イベントや団体の活動として使用できる多目的ホールを有する屋内運動場を整備する。</p>	<p>〔支援措置〕 学校施設環境改善交付金</p> <p>〔実施時期〕 平成27年度～28年度</p>	

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>〔事業名〕 歴史的建造物等活用事業</p> <p>〔内容〕 文化財登録制度の活用調査</p> <p>〔実施時期〕 平成22年度～25年度</p>	所有者市	<p>温泉街や商店街に残る贅を凝らした大正・昭和初期の日本建築など、歴史・文化的に貴重な建築物の保全方法を調査するとともに、活用策を探る。</p>	<p>〔支援措置〕</p> <p>〔実施時期〕</p>	

<p>【事業名】 上山型温泉クアオルト構想事業</p> <p>【内容】 気候性地形療法プログラム効果検証、人材育成とプログラムの事業化、健康志向者向けメニューの開発と地元食材提供、市民活動融合のワークショップ、気候性地形療法による健康ウォーキング、2泊3日連泊のツアー実施、新たなコースの設定、環境整備</p> <p>【実施時期】 平成20年度～28年度</p>	<p>上山市 温泉クアオルト協議会</p>	<p>市民の健康増進と交流人口の拡大を目的に、新たな上山型温泉クアオルト構想構築のため、平地の里山・温泉地区（標高180m）と標高1,000mの地区の標高差を活かし、両地区を連携させ、医科学的検証が得られている気候性地形療法による健康ウォーキングを実施する。</p> <p>さらに、市街地の美装化した道路を使い、まち中でのウォーキングも実施する。</p> <p>また、入浴を併用した健康づくりの連泊ツアーを実施し、健康づくりのための里山や準高所のウォーキングと市街地の歴史小路（フットパス）を活用したまち歩きや商店での様々な体験を組み合わせる事により多様な魅力づくりを行い回遊型観光の普及拡大に努める。</p>	<p>【支援措置】 観光圏整備事業補助金、市単独</p> <p>【実施時期】 平成22年度～28年度</p>	
<p>【事業名】 EVタウンプロジェクト推進事業</p> <p>【内容】 電気自動車充電設備の整備、EVカー送迎の実施、EVレンタカー</p> <p>【実施時期】 平成23年度～28年度</p>	<p>市、市観光物産協会、旅館組合</p>	<p>上山型温泉クアオルト構想及び上山市快適環境条例のもと環境、健康、観光をテーマにとして環境に優しい健康保養地(クアオルト)づくりを目指し、EVカーの普及拡大を図る取り組みを進めている。これにより、環境に優しい新しい旅の形を提案し、交流人口の拡大に結び付けていく。</p>	<p>【支援措置】 県単独、市単独</p> <p>【実施時期】 平成23年度～28年度</p>	

<p>〔事業名〕 街並み景観プロジェクト事業</p> <p>〔内容〕 歴史的建造物の実測調査、保存、活用事業</p> <p>〔実施時期〕 平成18年度～28年度</p>	<p>NPO 上山まちづくり塾</p>	<p>城下町・宿場町・温泉町として、雄大な蔵王の麓で静かに時を刻んできたこのまちには、当時の面影を今に伝える街並みや歴史的建造物が数多く残っている。幼い頃から目にしてきた建物や見慣れた街並みに光を当て、その価値を再考する機会を創出しながら後世に伝える活動に取り組む。</p>	<p>〔支援措置〕 緑の分権改革事業、市単独</p> <p>〔実施時期〕 平成18～28年度</p>	
<p>〔事業名〕 高齢者サロン設置事業</p> <p>〔内容〕 高齢者サロンの設置</p> <p>〔実施時期〕 平成30年度</p>	<p>市</p>	<p>空き店舗等を改修して高齢者が気軽に立ち寄り、趣味の活動や交流ができる場を整備することにより、介護予防、核家族化や高齢化の進展に対応した支え合いのまちづくりを推進する。</p>	<p>〔支援措置〕</p> <p>〔実施時期〕</p>	
<p>〔事業名〕 温泉クアオルト拠点施設整備事業</p> <p>〔内容〕 温泉クアオルト拠点施設の整備事業</p> <p>〔実施時期〕 平成30年度</p>	<p>市</p>	<p>上山城の玄関口である立地条件を活かし、上山型温泉クアオルト事業を展開する際の拠点施設として、土蔵を改修して整備する。観光客や市民の健康ウォーキングやまち中ウォーキングの起点となるほか、観光案内機能、ギャラリーなどを併設して複合的な機能を備えて回遊型観光の拠点となる。</p>	<p>〔支援措置〕</p> <p>〔実施時期〕</p>	